

## 泉のあるところ

小林 あき

そこは

白い光で

まるく明るいところ

まわりは

深い闇のところ

私の産まなかった子どもたちの  
いるところ

広げて干す

なにかの毛皮は

あたたかそう

ひとつ

もいがかじれば

ひと日が

満たされる果実の木もあり

すまいは洞窟

どの子も

岩山のでっぺんを

見あげることはないのです

兄弟姉妹のむれ

長男は父がわりですが

他のむれとの

戦いはなく

長女は母がわりですが  
新たな血を求める略奪婚

そのために  
さらわれることもなく

原始をくらす子どもたち  
産まなかった私としては  
洞窟わきの  
泉の水に  
安堵します

朝と

夕の

ちよつとした雨

そのおしめりも

ありがたいでしょう

私は

庭の

水まきが

おっくうになりつつ

あります